

漁港の環境整備で

感謝状贈呈

町内の建設会社2社(㈱若狭組、豊成建設㈱)が、町内漁港の環境整備を行い、3月30日(木)に町長より感謝状が贈呈されました。

(株)若狭組は、漁港内の外灯を水銀灯からLED灯へ交換、設置する作業を行いました。

豊成建設㈱は、船揚場斜路の漂着物を撤去、処理する作業を行いました。

いずれも、漁業者から兼ねてより要望のあった内容で、荷揚げ作業などに支障をきたしていたことから、多大なる貢献に敬意を表し、感謝状の贈呈にいたしました。



防災力の向上を目指して 天の川氾濫を想定した図上訓練

上ノ国町内会自主防災組織(北村克夫会長)が3月26日(日)、勝山交流館にて上ノ国消防署の協力のもと、天の川の氾濫を想定した図上訓練を行いました。42名の参加会員でどの段階でどのような対応をしたらいいのか話し合われ、防災グッズの持参や安全な避難先の確保などの意見が出されました。北村会長は「警報レベルが上がる中、自分たちの取るべき対応を真剣に話し合ったことが大きな成果です。今後も様々な防災訓練を通して防災力の向上に努めたい」と話していました。

上ノ国から世界への挑戦! GACKT×ワイナリー・ユネスコ

4月4日(火)、アーティストのGACKTさんがコラボワインの生産プロジェクトに向け、苗木の植樹や施設見学に上ノ国ワイナリーを訪れました。

ワイナリーを運営している上ノ国開発の丸山社長からの話を受け、GACKTさんがワイナリーや本町への可能性に期待し実現しました。

GACKTさんは「ワインができるまで時間はかかるが、これから先どうなるかを含め、苗木とともに歩んでいきたい」と、ワイン作りへの熱い思いを語りました。



協力校がご協力ください! 書き損じ本が回収活動

2月中旬から3月中旬までの約1カ月間、上ノ国高校ではユネスコと連携し、町民から書き損じハガキや未使用切手などの金券を集め、世界の難民の子どもたちが学校に通うための教育費に寄付する「書き損じハガキ回収活動」を行いました。

この事業は発展途上国での寺子屋建設支援を目的に、英語学習クラブ「KEEP」に所属する生徒6名が実施しました。今年は67,200円相当が集まり、生徒達が仕分け作業をした後、3月24日(金)にユネスコに向け発送しました。